

今年は例年に比べ積雪が少なく、生育は平年より進んでいます。溝に水が溜まると、湿害を受け、葉色が淡くなるので、排水口や溝を手直しして排水を促しましょう。

## 管理のポイント！

排水溝の手直しを行い、ほ場の排水対策を実施しましょう。

## 1. 排水の徹底

冬期間は、雪や雨で、排水溝が崩れたり、溝に水が溜まっているほ場が見られます。排水溝を早急に手直しし、水が流れるようにしましょう。

### 【排水対策の主なポイント】

- ①崩れた排水溝の手直し
- ②溝の連結及び排水口の点検・補修
- ③排水口の掘り下げ
- ④停滞水が見られる場合は速やかに排水溝を増設する



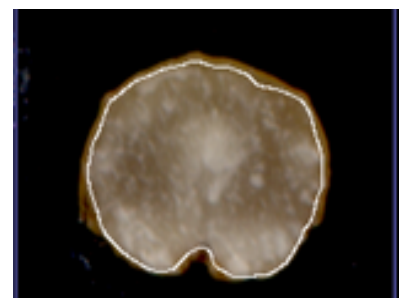
※ 水が流れるように溝を手直しする

## 2. 追肥

※分施栽培の場合は速やかに追肥（硫安 15~20kg/10a）を行って下さい。

基肥一発肥料では、肥料成分の溶出が登熟後半まで続くため、極端に茎数が少なく、葉色が淡い場合を除いて、原則として施用しないでください。

むやみに追肥を行うと細麦や硝子粒（右の写真参照）が増加し、品質が低下します。



硝子粒(切断面が透きとおる)